

令和五年十月二十五日(水)〜十月三十日(月)

大分市コンパルホール二階市民ギャラリー



# 豊後能面工芸会

主宰 水島 基盛

# 第九回 能面展

安東祥二 安東祥二 安東祥二 安東祥二 福島 功 福島 功 福島 功



泥黒髭 獅子口 笑 尉 重荷巽尉 白般若 小獅子(金) 中 将

**泥黒髭** 黒髭は龍神の面であらう。人の口を機能的に動かす。人の口を機能的に動かす。人の口を機能的に動かす。

**獅子口** 一石橋の口。獅子の口。獅子の口。獅子の口。獅子の口。獅子の口。獅子の口。

**笑 尉** 笑う老人の面。笑う老人の面。笑う老人の面。笑う老人の面。笑う老人の面。笑う老人の面。笑う老人の面。

**重荷巽尉** 官仕えの面。官仕えの面。官仕えの面。官仕えの面。官仕えの面。官仕えの面。官仕えの面。

**白般若** 女性の面。女性の面。女性の面。女性の面。女性の面。女性の面。女性の面。

**小獅子(金)** 古くは中国から伝来した獅子の面。古くは中国から伝来した獅子の面。古くは中国から伝来した獅子の面。

**中 将** 代表的な若い男の面。代表的な若い男の面。代表的な若い男の面。代表的な若い男の面。代表的な若い男の面。

加藤幸太郎 加藤幸太郎 榑崎喜夫 榑崎喜夫 榑崎喜夫 榑崎喜夫 安東祥二



猩々 小 姫 突 朝 蟬 丸 中 癡 見 釈 迦 鷹

**猩々** 猿の面。猿の面。猿の面。猿の面。猿の面。猿の面。猿の面。

**小 姫** 可愛らしい少女の面。可愛らしい少女の面。可愛らしい少女の面。可愛らしい少女の面。可愛らしい少女の面。

**突 朝** 新作用の面。新作用の面。新作用の面。新作用の面。新作用の面。新作用の面。新作用の面。

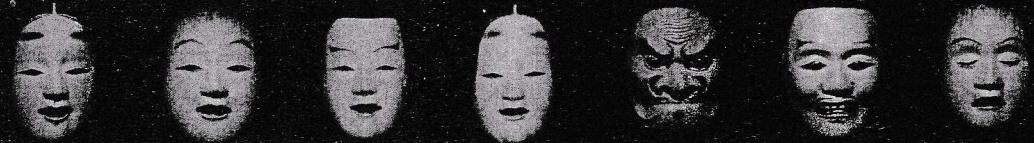
**蟬 丸** 純粋な少年の面。純粋な少年の面。純粋な少年の面。純粋な少年の面。純粋な少年の面。

**中 癡 見** 大いなる面。大いなる面。大いなる面。大いなる面。大いなる面。大いなる面。大いなる面。

**釈 迦** 釈迦の面。釈迦の面。釈迦の面。釈迦の面。釈迦の面。釈迦の面。釈迦の面。

**鷹** 山奥に棲む猛禽の面。山奥に棲む猛禽の面。山奥に棲む猛禽の面。山奥に棲む猛禽の面。山奥に棲む猛禽の面。

田中正治 田中正治 田中正治 田中正治 加藤幸太郎 加藤幸太郎 加藤幸太郎



若女(月) 童 子 金 昏 童子 小 面 長 豊 癡 見 錦 木 男 弱 法 師

**若女(月)** 若い女性の面。若い女性の面。若い女性の面。若い女性の面。若い女性の面。若い女性の面。若い女性の面。

**童 子** 可愛らしい子供の面。可愛らしい子供の面。可愛らしい子供の面。可愛らしい子供の面。可愛らしい子供の面。

**金 昏 童子** 少年の面。少年の面。少年の面。少年の面。少年の面。少年の面。少年の面。

**小 面** 最も完成された少女の面。最も完成された少女の面。最も完成された少女の面。最も完成された少女の面。最も完成された少女の面。

**長 豊 癡 見** 癡人と口を真一文字に結ぶ面。癡人と口を真一文字に結ぶ面。癡人と口を真一文字に結ぶ面。癡人と口を真一文字に結ぶ面。癡人と口を真一文字に結ぶ面。

**錦 木 男** 色どりの面。色どりの面。色どりの面。色どりの面。色どりの面。色どりの面。色どりの面。

**弱 法 師** 追食した徳徳丸と、彼を食した徳徳丸と、彼を食した徳徳丸と、彼を食した徳徳丸と、彼を食した徳徳丸と、彼を食した徳徳丸と、彼を食した徳徳丸と。

後援 大分市教育委員会・大分合同新聞社・OBS大分放送・TOSテレビ大分 OAB大分朝日放送・J:COM大分ケーブルテレコム

**ご挨拶**  
 本日はご多用の中、ご挨拶  
 誠にありがとうございませ  
 きども豊後能面工芸会では  
 私どもも豊後能面工芸会  
 その奥深さに魅了され、あ  
 努力を続けたいと思つた  
 今回を大分より住まされ  
 開催の運びとなりました  
 まだまだ未熟ではありますが  
 揮筆の賜りありがとうございます  
 いただいたお礼申し上げます  
 いただきましたので、ご寛容  
 お願いいたします  
 御座  
 第九

**能面の解説（入口右側より）**



**神功皇后**  
 宮崎宮を舞台に神功皇后が  
 神女として現れ、華やかな  
 天女の舞を舞う能楽の打  
 類によつて、観安右衛門が  
 頼りました。



**一角仙人**  
 「一角仙人」の専用面。角は  
 外角鋭い怪士系統となり  
 眉が鋭い眼光などになり  
 ます。暮らしぶりが想像に  
 似ています。



**橋姫**  
 姫のあまの川になりつた  
 と折る宇治の川になりつた  
 なつた宇治の川になりつた  
 神社と関連があるといは  
 れます。



**十六**  
 一の谷合戦で十六歳の短い  
 生涯を閉じた平家盛を模し  
 濃面を顔がた平家盛を模し  
 の公達を伝える表情を持ち  
 ます。



**皺尉**  
 独特の皺のある尉の面であ  
 り、五神指を主現れた流  
 られられます。主現れた流  
 られられます。



**猩々**  
 童子に共通する面差して  
 きななをたえの面差して  
 上が瀟灑とした様子、水  
 す。瀟灑とした様子、水



**生成**  
 一般者の面の中で、成  
 が充分でない状態を表現  
 と生も指す。角が本成は  
 と呼ばれている。



**武甕**  
 武甕は能面の大鬼（うへし  
 （き）に相当する鬼面（うへ  
 モア）をあらわす。鬼面（う  
 で。モア）をあらわす。鬼面（う



**不動**  
 不動は仏の守護神であり  
 に相対する鬼面（うへし）  
 た力が明王の調伏を表し  
 て。た力が明王の調伏を表し



**半蛇**  
 近江猿蓑時代から伝わり  
 の金巻に蛇がたむろして  
 る。の金巻に蛇がたむろして



**姥**  
 神性をそなえた品位の高い  
 老いた女性の面。高砂の面  
 使われ、小牛尉とこの姥の面



**童**  
 露文を写した菊の葉に溜まる  
 もの飲んで仙人となり七  
 神と寝て優雅に少年積ど  
 で。神と寝て優雅に少年積ど

**特別出展**  
 大分水島展  
 安福橋東島室  
 高田藤幸  
 脇崎美夫  
 田廣喜郎  
 幸美二功  
 守郎

**久住教室**  
 住立教室  
 木崎立  
 首藤八  
 田中八  
 中藤八  
 治井子

**豊後能面工芸会**  
 水島基盛  
 大分市荏隈町2-20-12  
 (電話) 097-543-3750



**若女白菊**  
 親世流が他流の菊に溜まる  
 命を江戸の面打ちて若い  
 女を白菊と呼びます。女を  
 め。命を江戸の面打ちて若い



**恵比須**  
 七福神の柱、海の神、恵比  
 考を演じて、大黒を降伏さ  
 やつて笑顔を浮かべ、福徳  
 ます。やつて笑顔を浮かべ、



**黒**  
 七福神の柱、大黒を降伏さ  
 だつた狂言の鬼面（うへし）  
 人々の鼻を黒く染め、福徳  
 て。人々の鼻を黒く染め、



**赤般若**  
 般若の角や赤味が、黒い  
 肌色に結んで、黒い髪を  
 髪を黒く染め、黒い髪を  
 せています。髪を黒く染め、



**黒**  
 七福神の柱、大黒を降伏さ  
 だつた狂言の鬼面（うへし）  
 人々の鼻を黒く染め、福徳  
 て。人々の鼻を黒く染め、



**猩々**  
 童子に共通する面差して  
 きななをたえの面差して  
 上が瀟灑とした様子、水  
 す。瀟灑とした様子、水



**猩々**  
 童子に共通する面差して  
 きななをたえの面差して  
 上が瀟灑とした様子、水  
 す。瀟灑とした様子、水



**猩々**  
 童子に共通する面差して  
 きななをたえの面差して  
 上が瀟灑とした様子、水  
 す。瀟灑とした様子、水



**猩々**  
 童子に共通する面差して  
 きななをたえの面差して  
 上が瀟灑とした様子、水  
 す。瀟灑とした様子、水



**猩々**  
 童子に共通する面差して  
 きななをたえの面差して  
 上が瀟灑とした様子、水  
 す。瀟灑とした様子、水



**猩々**  
 童子に共通する面差して  
 きななをたえの面差して  
 上が瀟灑とした様子、水  
 す。瀟灑とした様子、水



**猩々**  
 童子に共通する面差して  
 きななをたえの面差して  
 上が瀟灑とした様子、水  
 す。瀟灑とした様子、水



**若男**  
 少年から青年に差しかけた  
 占の面などで用いられた  
 占。少年から青年に差し



**瘦男**  
 漁師、殺生の罪で地獄に墮ちた  
 夜通つて、類賢が幽霊の面  
 ので。漁師、殺生の罪で地



**瘦女**  
 やつれ果てた中年の女の面  
 んだりになつて、落ちた女  
 ので。やつれ果てた中年の



**白式翁**  
 能面の中で最初に顔があり  
 最も白い面。秋万段を祝う  
 ので。能面の中で最初に顔



**黒式尉**  
 能面以前、面影を色濃く留  
 めて、黒く染め、黒い髪を  
 ので。能面以前、面影を色



**童**  
 露文を写した菊の葉に溜まる  
 もの飲んで仙人となり七  
 神と寝て優雅に少年積ど  
 で。神と寝て優雅に少年積ど



**増**  
 能面の宝飾、宝飾が打つた  
 女性に宝飾、宝飾が打つた  
 女性に宝飾、宝飾が打つた



**癡見**  
 猫に植えられた髪は斜めす  
 持たせ、犬や妖婆の役に  
 ので。猫に植えられた髪は



**深井**  
 深井は文字通り深い心情を  
 現した母性の愛情や、深さ  
 ので。深井は文字通り深い



**増**  
 能面の宝飾、宝飾が打つた  
 女性に宝飾、宝飾が打つた  
 女性に宝飾、宝飾が打つた



**増**  
 能面の宝飾、宝飾が打つた  
 女性に宝飾、宝飾が打つた  
 女性に宝飾、宝飾が打つた



**深井**  
 深井は文字通り深い心情を  
 現した母性の愛情や、深さ  
 ので。深井は文字通り深い